

公立病院改革プラン 点検・評価(平成23年2月時点)

(別紙)

団体名 (病院名)	紀南病院組合 (紀南病院)
--------------	------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分	年度	実績			計画初年度		計画2年度		23年度 (計画)
		18年度	19年度	20年度	21年度 (計画)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	22年度 (見込)	
収	1. 医業収益 a	3,784	3,529	3,306	3,475	3,378	3,594	3,558	3,676
	(1) 料 金 収 入	3,637	3,372	3,161	3,320	3,210	3,439	3,386	3,521
	(2) そ の 他	147	157	145	155	168	155	172	155
	うち他会計負担金	28	28	28	28	44	28	53	28
	2. 医業外収益	664	633	715	753	791	755	844	763
	(1) 他会計負担金・補助金	106	86	124	141	163	145	201	153
	(2) 国(県)補助金	10	10	40	38	44	38	48	38
	(3) そ の 他	548	537	551	574	584	572	595	572
	経常収益(A)	4,448	4,162	4,021	4,228	4,169	4,349	4,402	4,439
	入	1. 医業費用 b	3,989	3,768	3,680	3,834	3,640	3,826	3,702
(1) 職員給与費 c		2,310	2,235	2,205	2,294	2,177	2,306	2,233	2,321
(2) 材 料 費		882	750	725	747	711	747	716	757
(3) 経 費		439	426	429	461	425	459	442	459
(4) 減価償却費		295	286	260	263	263	245	248	238
(5) そ の 他		63	71	61	69	64	69	63	69
2. 医業外費用		668	631	614	596	622	591	633	586
(1) 支払利息		103	95	79	74	73	69	68	64
(2) そ の 他		565	536	535	522	549	522	565	522
経常費用(B)		4,657	4,399	4,294	4,430	4,262	4,417	4,335	4,430
経常損益(A)-(B)(C)	▲ 209	▲ 237	▲ 273	▲ 202	▲ 93	▲ 68	67	9	
特別損益	1. 特別利益(D)								
	2. 特別損失(E)								
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲ 209	▲ 237	▲ 273	▲ 202	▲ 93	▲ 68	67	9	
累 積 欠 損 金 (G)	152	▲ 85	▲ 273	▲ 202	▲ 93	▲ 261	▲ 7	▲ 252	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	2,794	2,046	1,663	1,566	1,704	1,663	1,747	1,751
	流 動 負 債 (イ)	334	260	296	277	297	277	384	282
	うち一時借入金								
	翌年度繰越財源(ウ)								
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 不良債務 差引 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)] (オ)	▲ 2,460	▲ 1,786	▲ 1,367	▲ 1,289	▲ 1,407	▲ 1,386	▲ 1,363	▲ 1,469
単年度資金不足額(※)	26	674	419	66	▲ 40	▲ 97	44	▲ 83	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.5	94.6	93.6	95.4	97.8	98.5	101.5	100.2	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	94.9	93.7	89.8	90.6	92.8	93.9	96.1	95.6	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	61.0	63.3	66.7	66.0	64.4	64.2	62.8	63.1	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 2,460	▲ 1,786	▲ 1,367	▲ 1,289	▲ 1,407	▲ 1,386	▲ 1,363	▲ 1,469	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-	-	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	-	-	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	84.5	77.6	71.5	73.1	69.1	76.4	75.0	79.9	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	紀南病院組合 (紀南病院)
--------------	------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	21年度(実績)	22年度	22年度(見込)	23年度
収 入	1. 企業債		60	95	66	23	20	50	120	50
	2. 他会計出資金									
	3. 他会計負担金		179	208	163	143	143	140	141	104
	4. 他会計借入金									
	5. 他会計補助金									
	6. 国(県)補助金		11		2	3	6		58	
	7. その他					500	499	300	299	500
	収入計 (a)		250	303	231	669	668	490	618	654
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)									
	前年度許可債で当年度借入分 (c)									
純計(a)-(b)+(c) (A)		250	303	231	669	668	490	618	654	
支 出	1. 建設改良費		86	116	77	27	43	60	159	60
	2. 企業債償還金		313	469	313	282	282	244	281	171
	3. 他会計長期借入金返還金									
	4. その他			500	300	509	506	306	300	506
	支出計 (B)		399	1,085	690	818	831	610	740	737
差引不足額(B)-(A) (C)		149	782	459	149	163	120	122	83	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金		149	782	388	149	163	120	122	83
	2. 利益剰余金処分量				71					
	3. 繰越工事資金									
	4. その他									
計 (D)		149	782	459	149	163	120	122	83	
補てん財源不足額(C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)										
実質財源不足額(E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	21年度(実績)	22年度	22年度(見込)	23年度
収益的収支	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(0)	(28,000)	(0)	(28,000)
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	133,726	114,352	151,841	164,909	207,704	173,257	253,928	181,321
合計	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(28,000)	(0)	(28,000)	(0)	(28,000)
	312,343	322,154	314,464	307,500	350,296	313,500	394,848	285,300

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金というものであること。

概要・評価

DPC導入効果により入院外来とも患者単価増

入院患者数は21年度実績に比べると増加しているが、医師不足の影響により計画値には達していない

外来患者数は一部診療科の縮小の影響により減少

地方交付税の増(44百万)

人勤による給与費の減(20百万)

材料費等の価格交渉強化(自治体病院協議会薬品ベンチマーク導入)

経常損益は計画を上回る(黒字化が1年前倒しとなった)

プラン・実績(見込)詳細

別紙のとおり